

に肝皆の支氣り員員三も四ト総の
本当に様卒え付ま配が人二歳と勢新さ
た銘が園てかし置担人児な百入て
つじい生下なたで当任担組り八園
ててらのさい。ニスを任ま、十児今
お教つ皆つ所こ十る、で満一の年
り職し様てでれニ、す年全三名皆度
ま員ややい、も年患べ長五歳で様は
す共る保るの私度までニク児のを六
々こ護、びどがれ正クラ組ス迎十
保と者多るも始た規ラスカタえ三
育をのくをがま教職スとら、名

すて無いざ切保る同理育る思いそん
ゆ理事いに育育じ解てといをれケまおを価立育をなあ様い様価稚
きをもま進者児一をにきを持をたり木のてへいどり子たに委園
たせ多すめ・のの頂大は真ち基ト、ま・結てのたに方やだ度員で
いす々・て保仲びく切保撃、にに保すム果いスだ、表き々をは
と一あまい護間るよな育に保教御護
思歩るだる者とつうこ受護師協者
つーでまととのし子努とかけ者間力の
て歩しだこ連て一力にら止のでい皆
お前よ足ろ携、をには見め皆話た様
り進うりでを園育勢、た様しだに
ましがなご大・てめ御子あの合きア

て務評役保見てののし皆評幼
きをもま進者児一をにきを持をたり木のてへいどり子たに委園
たせ多すめ・のの頂大は真ち基ト、ま・結てのたに方やだ度員で
いす々・て保仲びく切保撃、にに保すム果いスだ、表き々をは
と一あまい護間るよな育に保教御護
思歩るだる者とつうこ受護師協者
つーでまととのし子努とかけ者間力の
て歩しだこ連て一力にら止のでい皆
お前よ足ろ携、をには見め皆話た様
り進うりでを園育勢、た様しだに
ましがなご大・てめ御子あの合きア

無素とすす大な声
い敵活素がき子支は、た
よな動直子くどえ
う笑しでど変もでの
願顔て元もわをあび生
つがお気のっ取りる
て絶りで本てり、幼明
おえま、質き巻宝稚る
りするすのはてくで園
まこ。びかお社すの
すとこのわり会。大
のびらまがき



り姿らしと、た具ま入教性驗育子れ持すたちま持ちくだく時年
まにましく、子
しはたい活友ど
た目、も動達も
。を先のしをた
一見生だて思ち
生張方といいが
懸るの思るな、
命も献い姿がの
やの身まはらび
つが的す素、の
てあな。晴樂び

いにそネすい子さし委
えされ育をのつどしちる。のしちのこいさにが子へふしる。たどせた員の
てに、と引中てもくがたの力たで顔とてんは経どんれてギ改だもて。にび
い幼感しきでいた思よびびは。自をがいの、つも勉さ子、めいたいいなる
稚情て出子るちいみにる、そ然見楽ま工子てた強せどのてたちたろり幼
園園を音しど、がまが、幼偉れにたししネどいちにても偉子よかだい、稚
だ教育樂てもい遊しえ現稚大ほ足いいたルもまかないた大どうらきろニ園
と育てをいたろびたり職園などが、。ギたすらりたちさもな生、な年の
思のて多るちいを。のにも子向と子学、古離まだの、た気き私場が学
い本いくのろ通特大頃おのどいいど校をか現れしき人可ちがる自へ経校
ま質る取情可なしに変の邪でもてうもへいら職、た間能のし力身参ち評
しを、り操能体て、う気魔したい気た行たたの七、た性性工まをも加ま価

のびる幼稚園に思う

学校評価委員
佐藤 真吾

学校評価委員
田光世

方に個節内相るびし遊士てのなにる境、にち
の配々度で応。までび山い子丘驚。をこほのい
努慮ののし道わい場。るどまく実じこつ賑つ
力し子あ保く具りるは市。もで。につ、とやも
が努どる育整も、時も街そた出園充くのすかな
う力も内もわ歴大間は地のち来庭実りびるなが
かしに容あれ史声はやで向がてはし窓る思声ら
がてあでいてがで心皆はこ上お広てか幼い、の
わいっあかいあ走配無子うりり々いら稚で平子
れるたっわるるりな。どに下、「る見園す和ど
た先対たら。園回く登もはり数小環ての。のも
。生応。ず室にれ遊園の富し名さ境み環 声た

い躍中すま感かと方始つ教とつどひい
とで学良し想ら思のめの師つしのとる
念き校いたをのいお、要にてや先り姿、
願るや教述びま力理素め幸い生を
い人大育こべるすに事でぐせまも大子
た材人をれさ幼、敬長すりなし頑切ど
しをに推かせ稚意先。合こた張にも
ま育な進らて園ニを生園うと。つした
すてつしもいを年表、長こは子ててち
てて、また見間し各先と、どいいの
ほも小すだてのた先生も良もらる一
し活。まきの外い生を一いに姿人

「子どもたちと生きる」



月野路子の覚え書き
月野義識



もるび会鷺当らど唱幼新よ振と次稚
あ青にな山時れも歌稚しり吾月郎園昭
つ年幼ら教の「作な園い」に野氏が和
たた稚
・古園
のは、
集ま
り動の
場ふ
でれ



開四
園年
し、
先に、
小鷺
船幼

つ学準幼同ったデ歌小本れ今婚野
た校備稚時たニモが船をたで式振昭
にの園に。人ク披幸代。もが吾和
通たを教にラ露次表結あ、と三
学めあ会ふシさ郎す婚る山、年
す、わをる貞せ持わのるに作に岸公・十
学はてつ生、設たし洗なよ曲は教園鳥月、
生、設たい礼どる家、会の居式を、と後でそ貞父
で保立ニも母す人式を、と後でそ貞父
あるはあけ正婚る日わに結月

教が三戦昭くら相に中
会、島争和話入当入学
を徒は疎十題学な学は
訪歩、開九にで難
ねでまで年しき関今私
た箱だ転五てな校で立
縁根結居月いいでは共
で超婚にたよ、こ立
あえ前、ね今の女
つでの三とだ学子
た三父島、つ校中
と島母によたは学



つ母路しか母校切こし校しか男し。に横昭ち稚とた教に二
てが子たがどはつたに揃ら宣か長入浜和、園き。会横月月
い決はの画ち、た思。転つず夫し男学女十幼のか生で浜二野
ため後か策ら父転い校て、が、真。子年稚中らま生市十路
市兄、四も後師に園で、れま鷺三子

たには
のなわ
でつか
はてら
? 「な
」たい
とぶが
言ん



立弟付年入に範卒を育幼たれ山日は、
立は属生学三の園
野付ののしつ付。
国属試とた違属小
民を験き。い小学
小退に、の学校
学学受次弟校は



昭和四年十

のらもをどの当通瀬私
賃く思習がミ時いに立
料はわう少シ、あ沼
を、れ環なン月洋つ津
も洋る境かが野裁た精
ら服。がつあ家の横華
つを卒整たりに腕浜卒
て縫業つ時、はを洋業
いつ後て代ミシ磨裁後
たて、い、シンい学は
時少した洋シガた校
も々ばと裁な。に広



満と一記立でで昭あそどいとせなイ電と労な國にどま十中そ聞
も言私につ、は和つんもた言らビル線し奉ど産行、で年学のい
書うだ書てよ、二たな動。つれを巻のて仕で電か学はハに後て
いよけい出く極十。話員工てたさきコ、隊勤機ず校殆月転、い
てうがて掛買度年もさ場
いな何いけ出のか時れに
た少でたたし食ら折ては、
。女? 話に糧二
ら、な母難十、くた蕷
し、どとの三、こら中
い、を連時年、とし生
不、日れ代ま、がくな



校私る。立
十沼
九年津
精か華
ら女
二子

けス新新たに続
てん島島、続けピ
いを弘弘しけてア
たお先先かていノ
。や生生しいたは
めがの、たが
に三薰風訳そ幼
な島陶間でれい
るでを清もほこ
まの受先などろ
でレけ生か熱か
続ツ、やつ心ら

ピ
ア
ノ

し行スしの今さ映三本に霧まにこ年津保道学機教そな合涯あ
てつキんんでん画時人従囲りあの間聖母昭を校に育のつ唱のつ
いた! だびはたをこが事気しり幼勤マ養和目に、大こた活趣た。
たりに時り考ち見ろよしのた、稚めア成ニ指入路学ろ。動味
よと行期しえとてにくて中幼百園る幼学十す学子に弟
う結つてたらお帰は話い、稚人は、稚校九こしも入。
に構たも中れ茶っ仕した樂園前沼園を年と幼玉学月
見樂りあ、なをた事て、しで後津に卒三と稚成を野
えし山つ青いしりもいん家の市奉業月な園保し真
たく登た春ほた、終たで族こ大職しに教母たが
。過り、をどり神っが、保的じ手し、玉た諭養の東
ごに、樂のと父て、育なん町九沼成の成を京

活母
に・
入・貞
が、
脳溢血
で闘病生



のびる音楽園
任退そこい聖ス現子アてたほし幼のい
教職ののたマの在も幼い。どた稚びた聖
諭し後こもリ聖も手稚たしの。園るこマ
と、ろのア劇使伝園がば人父が音ろリ
なの聖かが幼のつうに、ら数と、樂、ア
るびマラ原稚衣てよ勤やくで母南園自幼
るり使型園装いう務がはのだ本と宅稚
音アつてはるにすて二開け町しを園
樂幼てな使、クなる、人園でにて改に
園稚いつ用當リつ傍聖でで開小裝勤
の園るてし時スたらマやあき園さしめ
専を。てのマ、路りつるな、て



は一たの園くつしと
充人がま舍見かたの広
分で、だはつらが願い
な切路ま木けな、い場
広り子だ造るかなか所
さ盛がさ平こつからで
でり中な屋とたな新の
あし心園建ががか天幼
つてとでで、適地児
たゆなは、きよ地を教
くつあーたうが模育
にてつ棟。や見索を



開副に新たなを話い会団氏計唱た的子た理な学き
園園完園つ持を、でのと士仲がではのがり校、三
し長成舎ててすこ出同合鈴間、あ消であの法移島
た。はくくるの会窓唱木設合つ極路つ無人転市

。月園昭れだと
野長和たさ
路・五・り鈴
子月十・木
の野五・協氏
布振年・カも
陣吾十・者興
で、月と味



とし青
木に新
園舎が
なるの
には、か

学校法人のびる学園



た様本わたが音書法で出で研
子にせび伴樂いに実す、究当
がはをた奏部てつ際こ幼者時
写、しご等門いいのと児横最
真當て上のはたて保に教地先
で時い京理、は育な育先端
紹のたし論中、のり百姓の
介子、てを田殆現、科の幼
さど、書喜ど場音的グ兒
れも打か直路で楽ナル教
て達ちれ先子の部本、育
いの合、生が方門をプの

がけたれるり合つかう期まけビ伝よ演しんい
て、はのか唱いでいたた、説うはたシた演
そき本路がなはい側、洋、よ二ので欠世ユ様奏
れた人子、ら団たの聖画映うのテあか界夕で会
だだはの路ずが様映マは画で来ノっさのイ、
にけけた生子最存で画り殆はあ日、たずーンコは
でとだき流後続あ館アド戦っ公ル、出流なルよ
は言ズ方でましつに幼見後た演歌、掛演どトく
なつるであでたは稚ての、に手、け奏当、出
いてズもり在い、毎園いあ、もタ、て家時、掛
事いルあ、団る、週のたる、出リ、いの来ルけ
はた続っこす限、行向よ時、掛ア、た公日ビて

音楽

もがどで校軍にたど政したどイなつに路次
言ずん、は人も的な治て始もラ嫌た第子イ園
つくな何並は良なか的いま達ク悪たニはラ長
てとにばえく発なたつを戦感め次、クに
い良悪もさばな言た発、た巻争を、世青戦就
たいく面れつかにが言、きが抱軍界春争任
と込始い隊大のがし、むまでに戦多始た
大戦るいはの感ま年、変争とた本中なつに
心が、能で時た第配ま子、的育期、一



担他ドパビいも任平かと予るま園
当ののンアた毎し成ら、どで平
し教作のノ、日、十もぶも、成
て員成注を、いと、文每
いと、文每
た変物、日、
わ品お教
ら注誕え
ぬ文生る
仕な日こ
事どカと、
を、|、
て後辞、員さ



てす合、民確
いる唱コ合か
た直団、唱な
前なラ団こと
まビス、でに
練所三びある。
習属島るる。
にシグフ、
参、ロアミ
加入りミ島
し院アリ市

平成二十年七月十日 昇天



すがい小な時小を時て自のたらりけ一歌き楽
。私をさ歌思さ思のい分でいでもな度、なし
達もいだいいい事るのす聞きすいお外歌い
大た子つが時出や歌事、くる、時ぼ国、歌
人せどたけにす、をを、事だだにえのふ、
のるもりな聞の一聞考、がけか思る歌る面
仕事にすいいで緒いえ、大沢らいとどい白
事が、ふたすにたて、切山小出、ん歌い
と出沢のる歌、歌時も、つ、だのさすおな、歌
思来山でいが、いるのす有あ、たそ知
まの思、名る、人のつ、と歌い事も歌日、
思を時がいで本す、ううかあがものて

